

## 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン【概略版】

### ご家庭の対応

- (1) 体調がすぐれない場合は登校せず、自宅で休養させることを徹底する。  
同居の家族に風邪症状が見られる場合でも登校せず、自宅で待機させる。
- (2) 適時・適切なマスクの着用等の咳エチケットの実施
- (3) 手洗い、うがい、適切な給水等の徹底（学校への水筒持参可）

### 登校時の対応

- (1) 制服による自力登下校を基本とするが、不安な場合は引き続き体育着による臨時登下校も認める。
- (2) 不安な場合は引き続き、徒歩可能な地点（1キロメートル程度）まで家庭から送ってもらう等の協力を得たり、低・中・高学年で下校バス時刻に時差を設けたりするなど「混み合うバス通学」を可能な限り回避する。
- (3) 人との距離に気を付け、できるだけマスクを着用することを指導する。バスを利用する際は原則としてマスクを着用し、なるべく会話をしない。

### 学習時の対応

- (1) 学習では、濃厚接触の定義となる①1m以内、②対面、③マスク無し、④15分以上の継続した会話の4条件が全て揃う状況をつくらないように工夫する。
- (2) 修学旅行等の実施期日や旅行先については、「山形市内の感染状況」と「行先の市町村の感染状況」を基に感染状況を見守りながら、児童及び教職員の安全を第一に考え適切に判断する。その他の学校行事やさまざまな体験活動、みのり班活動については、感染防止対策を取りながら実施する。
- (3) 給食では、飛沫を飛ばさないように「机を向かい合わせにしない」「食事中的会話を控える」などの対応を行う。
- (4) 合唱部及び弦楽部活動について
  - ①音楽室での練習で発声したり、息を強く吐き出したり吸ったりする活動を行う場合は、マスクを着用している場合でも、部員同士の距離は、発声する前方向に1.5m程度（最低1.2m）、左右は密が発生しない程度を確保し、児童同士が向かい合う配置は避ける。また、十分な換気に留意する。
  - ②弦楽部の練習は、楽器を共有しないようにし、感染状況に応じてパートや学年毎に違う練習室を設定するなどして取り組んでいく。

### 保護者の学習参観及び作品展に関すること

保護者の学習参観、学年学級懇談会等については、感染防止対策を行った上で実施する。ただし、山形市の注意・警戒レベルが高い状況の場合は、学習参観の中止や懇談会の内容を動画による連絡配信等に変更することも検討する。